

Eiche

Die Eiche ティ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町 2-681 ワールドナーシングホーム内

TEL.047-467-6111 FAX 047-467-6123

チター演奏会



演奏する内藤先生



中央が先生、左に平尾会長、宗宮副会長

昨年は都合によりお休みした、当協会恒例のチター演奏会。今年は場所を変えて、JR 西千葉駅より二分のレストラン「みどり」で午後二時より、会員及びチター協会関係者三十名を集めて行われた。

平尾浩三会長の簡単な挨拶の後に早速、内藤先生によるチターの説明と演奏。著名なチター奏者アントン・カラス一家との交際の思い出話、それに映画「第三の男」の細かいシーンの説明等々、一曲毎にトークが入り、参加者全員とても感動的な一時を過ごす事が出来た。

特に七十回も繰り返し見たと言う「第三の男」については、一般に誤解されている事が多いとして、二年前にアントン・カラス宅を訪問、カラスの残した写真を貰い受け、この内二百枚を挿入して『「第三の男」誕生秘話—チター奏者アントン・カラスの生涯』(マッターホルン出版)という本を昨年八月に出版。持参された十冊の本はたちまち売り切れに。尚、当日演奏された曲は「アルペンローゼ」(内藤先生作曲)、「美しき青きドナウ」、「第三の男」、「カフェモーツァルト・ワルツ」、「さくら」、「エーデルワイス」、「ローレライ」、「浜辺の歌」、「心の道」等十二曲。

～今後の催物案内～

- **ビール祭り** (アコーディオン生演奏有り)
 日時：9月28日(土) 2:30～5:30 PM
 場所：喫茶「サン」
 交通：JR 総武線西千葉駅南口 駅前広場左手の
 ブラザホテル内1階
 住所：千葉市中央区春日 2-21-11
 連絡：TEL 070-6124-3055
 会費：3500円
 申込：同封のハガキにて(9月25日迄)

- **滞日ドイツ人留学生・研修生(DAAD, CDG, KOPRA)との親善バスハイク**
 ～房総の日独交流の足跡を訪ねて～

主催：(財)日独協会 協賛：千葉県日独協会
 日時：10月20日(日) 8:00AM～
 集合：東京駅八重洲口鍛冶橋駐車場
 費用：6500円(バス代・入園料・懇親会含む)
 コース：習志野霊園墓参
 ⇒外房御宿町「五倫文庫」(フランクフルトの Struwelpeter 博物館と姉妹提携)見学。Der Struwelpeter(ぼうぼう頭)の日本語版及び江戸時代・ヴァイマル時代よりの教科書所蔵。
 ⇒御宿海岸「月の砂漠」記念館見学。
 浜辺のレストランで懇親会。
 その他：ドイツ人学生は、英語・日本語も話せますのでお気軽にどうぞ。
 申込：同封のハガキにて9月末日まで。

ライブツイヒ・ゲヴァントハウスと習志野第九

友野 信善 (当協会理事)

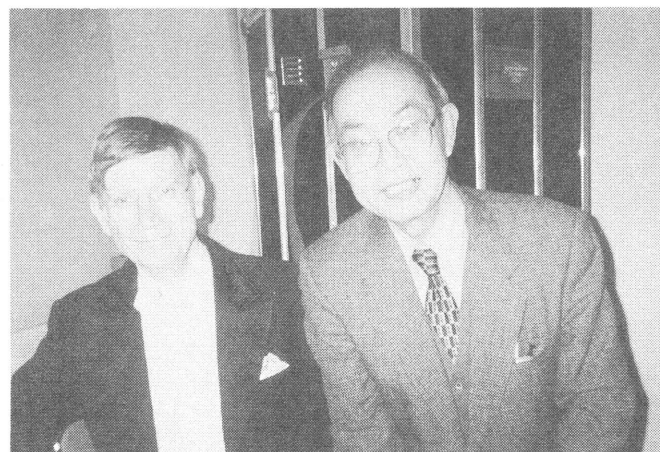
ベートーヴェン作曲の第九交響曲。この曲が、いまや日本の年末の風物詩といえるほど親しまれるようになったのは、東ドイツの古都ライブツイヒにあるゲヴァントハウス管弦楽団のお陰といっても過言ではありません。第1次世界大戦がドイツの敗北に終わった1918年、このような惨禍を二度と繰り返さぬための平和の訴えとして、当時ゲヴァントハウスを率いていた大指揮者アルトゥール・ニキシュが大晦日に第九を演奏することを発起しました。この伝統は、ドイツ全体としてみると第九の演奏される機会があまり多くない現在でも、ゲヴァントハウスでは営々と存続されています。

20世紀最後の大晦日に開催した私共の演奏会では、習志野より「第九を通して世界平和の賛歌を共に歌いましょう」というメッセージをゲヴァントハウスに送り、これはゲヴァントハウスのジルベスター第九演奏会のプログラムにも掲載されました。

さらに名誉なことは、ゲヴァントハウスの音楽監督で、日本でもお馴染みの名指揮者ヘルベルト・ブロムシュテットさんが習志野第九に直々にメッセージを下さり、これを演奏会で披露できたことです。それ以来ブロムシュテットさんとの交信は続いています。さる2月には、彼はゲヴァントハウス管弦楽団を率いて来日し、28日にオーチャードホールで公演をされました。曲目は、彼がもっとも得意とするベートーヴェンの交響曲7番、バイオリン協奏曲(ソロ竹澤恭子)。70才を過ぎてなお若々しいブロムシュテットさんの指揮ぶりも見事なら、それに応えるゲヴァントハウスの心に沁み入る重厚な音にも圧倒されるばかりでした。

演奏会直後、楽屋控え室にブロムシュテットさんを訪問。長蛇の列の真中で待つこと30分、ようやくお会いすることが適いました。習志野第九よりのお礼のメッセージと昨年の我々のプログラム、お世話になった事務局シュルツさん、プレスさん、更にマエストロへのささやかな記念品を差し上げ、サインを頂き、一緒に写真を撮りました。

何時の日か習志野で指揮棒を振って頂きたいとお願いましたが、果たして何時の日にこれが実現するか、実現すればこれは奇蹟です。



左がブロムシュテット氏、右は筆者

♪ 千葉県日独協会の名刺を作ってみませんか? ♪

- 仕様：横刷。左上に日独国旗をカラーで、右上に千葉県日独協会を漢字とドイツ語で印刷。氏名は漢字とローマ字。住所と電話は日本語で表記。
- 1を表側のみに印刷して100枚あたり2800円。
- お申し込みは、返信ハガキにて。